

港区立六本木中学校 課題分析表

教 科	教 科 の 課 題 分 析
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ともほとんどの生徒が意欲的に授業に取り組んでいる。言語事項については、授業中の取り組みや宿題などで、継続して練習させる必要がある。 ・「書く能力」の向上に向け、論理的でわかりやすい文章を書くことを目標とし、文章の構成や内容に着目した文章を書かせ、さらにその文章を自分で推敲させる。
社 会	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年ともに基礎的な知識が未習得の部分が大きい。そのため、新たな単元での知識が以前に学習した知識と関連していることに気付けない。そのため、各単元各項目に入る際、導入に加えて基礎的な事項の確認をし、知識の関連性や応用であることを確認する必要がある。 ・抽象的な社会事象に関する思考力が低い。日常の授業活動の中で、グラフ・統計資料などが持つ意味を考察させる活動が必要である。
数 学	<ul style="list-style-type: none"> ・港区学力調査の結果にも表れているが、主に1, 2年生で、小数・分数の計算、正負の数の計算、方程式の計算等、基本的な計算技能の習得がきちんとできていない生徒がいる。つまりの始めの部分に遡り、再度学習しなおしていく必要がある。 ・数学的な思考力、表現力を必要とする課題に対し、苦手意識を持っている生徒が多い。筋道を立てて考える場面、自分の考えをわかりやすく説明する場を今後授業に多く取り入れていく必要がある。
理 科	<p>港区学力調査の結果から、全学年において活用よりも基礎に課題があることがわかる。基礎的な内容を定着させるための反復学習をさせていく必要がある。また、関心・意欲・態度が低い傾向にある生徒には、日常生活と学習内容を関連付けてとらえることができるよう、実験の考察のさせ方や話し合い活動を工夫した授業を推進していく。</p>
音 楽	<p>各学年とも、表現や鑑賞の活動に対する関心・意欲は高い。自分の聴き取ったことや感じ取ったことを積極的に発言し、互いに高め合い学び合う構造が出来つつある。次のステップとして、表現の工夫や鑑賞の学習において、生徒が自らの課題に気づき、それを解決していくことのできる学習、また、協働的に解決していくことのできる学習を展開していく。</p>
美 術	<p>各学年とも、関心をもって表現活動に取り組んでいる。デッサンや着彩などの基礎的な技能や色彩などの理解が不十分なため、自分の考えを上手く表現できない生徒も多い。また、時間内に課題を終えることができず、放課後の補習をする生徒もいた。3年間を見通した偏りのない題材設定で基礎的な表現力を高めていくとともに見通しをもって制作していくことが必要だ。</p>
保健体育	<p>各学年とも、普段から運動部活動等で運動している生徒は意欲的に運動に取り組むことが出来る生徒がいる一方、体を動かす経験が乏しく、どのように体を動かしていいかわからず、運動することに消極的な生徒もおり、2極化の傾向がある。全体的に柔軟性に向け、男子では「走運動」、女子は「投運動」の能力が低い。授業を通じて、体力面の改善、向上を図ろうとする意識を高めさせる。</p>
技術・家庭	<p>各学年とも、作品の製作に向けた意欲は向上している。しかし、工具の使用や製作の知識に興味・関心が薄い。また、仕組みなどの理論に対しても興味は低い。</p> <p>今後は、実習教材などの工夫・見直しをし、作品を完成させた体験や実習などで喜ばれる体験などを通して理解を深めていく。</p> <p>作品の全員完成を目標に指導していく。</p>
英 語	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年ともほとんどの生徒が意欲的に授業に取り組んでいる。「話す力」「聴く力」はかなり着いてきたが、「書く力」は格差が大きい。